

目次

[試験解説]	3	
●令和5年5月実施試験問題（日整連 登録）	29	令和5年5月
解説	35	
●令和4年5月実施試験問題（日整連 登録）	46	令和4年5月
解説	52	
●令和3年5月実施試験問題（日整連 登録）	63	令和3年5月
解説	69	
●令和2年8月実施試験問題（日整連 登録）	79	令和2年8月
解説	85	
●令和元年5月実施試験問題（日整連 登録）	95	令和元年5月
解説	101	
●平成30年5月実施試験問題（日整連 登録）	111	平成30年5月
解説	117	
●平成29年5月実施試験問題（日整連 登録）	128	平成29年5月
解説	134	
●平成28年5月実施試験問題（日整連 登録）	145	平成28年5月
解説	150	
●平成27年5月実施試験問題（日整連 登録）	161	平成27年5月
解説	166	
●平成26年5月実施試験問題（日整連 登録）	176	平成26年5月
解説	181	
●平成25年5月実施試験問題（日整連 登録）	192	平成25年5月
解説	197	
●平成24年5月実施試験問題（日整連 登録）	208	平成24年5月
解説	213	
[あとがき ～口述試験体験談～]	224	

自動車整備技能登録学科（口述）試験

[一級小型自動車]

問題用紙

令和
5年
5月

【試験の注意事項】

1. 試験は問題1と問題2があり、試験時間はそれぞれ5分です。問題1が5分以内に終了した場合、試験開始後5分のブザー吹鳴まで問題2には進めません。
2. 試験開始のブザー吹鳴と同時に試験時間がカウントされるので、入室後は速やかに氏名（フルネーム）を申し出て、問題1に進みなさい。
3. 試験中、試験委員に対して受験者としてふさわしくない言葉づかい・態度があった場合は、減点の対象となります。
4. 試験終了後は、この問題用紙を持ち帰ってください。

【不正行為等について】

1. 携帯電話等の電子通信機器類は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいてください。
2. 試験時間中（試験会場内）において、携帯電話等の電子通信機器類を使用した場合は、不正の行為があったものとみなし、試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。
3. 登録試験に関して不正の行為があったときは、当該不正行為に関係ある者について、その試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。

この場合において、その者について、3年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。

問題1. サトウ様は、「走行中に大きな音が発生する。」という症状の点検を依頼するため、本日、自動車に乗って整備工場を訪れた。下記の情報をもとに、依頼に関する「基本的な問診」を実施しなさい。

なお、問診後に試験委員が点検方法などについて質問するので答えなさい。

続いて、自動車特定整備事業者の事業場において、法令で掲げるよう定められている「標識の色」について、試験委員の求めに応じて回答しなさい。

〔自動車に関する情報〕

自動車の種類	小型四輪自家用乗用車	
初度登録年月	平成24年11月	
エンジン	電子制御式ガソリン・エンジン	
総排気量	1.5L	
駆動方式	FF 2WD	
トランスミッション	CVT	
サスペンション	フロント	独立懸架式ストラット型
	リヤ	車軸懸架式トーション・ビーム型
ブレーキ	フロント	ディスク式
	リヤ	ドラム式
年間走行距離	約8,000km	
総走行距離	84,000km	
自動車の乗車定員	5人	
その他	この自動車は、平日は通勤に、土日は買い物に使われている。	

メモ欄

問題2. タナカ様から、「エアコンの風が弱い。」及び、「運転席のパワー・ウインドがオート作動しない。」という故障の修理と、「1年定期点検整備」及び「日常点検整備」の依頼があり、必要な点検整備作業を行った。

1. 試験委員の指示に従って点検整備記録簿の情報をもとに、次の(1)～(2)の順序で説明しなさい。

- | |
|-----------------------------------|
| (1) 依頼された故障の内容、修理内容及び修理後の確認結果について |
| (2) 点検整備記録簿の次の項目について |
| ① 交換した項目 |
| ② 調整及び測定の数値のある項目 |

なお、試験の都合上、以下のとおり留意して下さい。

- ① 点検整備記録簿、交換部品を試験委員に向けて説明する必要はない。
- ② 点検整備記録簿には必要事項を書き込んでもよい。
- ③ 整備保証の適用及び整備料金の説明は行わなくてよい。

2. 上記「1 (1)～(2)」の説明終了後、試験委員が「自動車用エアコンの代替冷媒」について質問するので答えなさい。

〔情報〕

1. 自動車に関する情報

自動車の種類	小型四輪自家用乗用車	
初度登録年月	平成25年5月	
エンジン	電子制御式ガソリン・エンジン	
総排気量	1.5L	
駆動方式	FF 2WD	
トランスミッション	CVT	
ブレーキ	フロント	ディスク式
	リヤ	ドラム式
年間走行距離	約6,000km	
総走行距離	60,000km	

2. 点検整備作業等

- (1) 「エアコンの風が弱い。」及び、「運転席のパワー・ウインドがオート作動しない。」という故障の修理と1年定期点検整備及び日常点検整備を実施した。
(作業内容は点検整備記録簿のとおり)
- (2) エンジン・オイルとオイル・フィルタはタナカ様の依頼により交換した。
- (3) 故障修理での部品交換は、タナカ様に連絡して了承を得てから行った。

特定整備記録簿(1年定期点検用点検整備記録簿写)

依頼者(使用者)の氏名又は名称

タナカ

省路

自動車登録番号又は車両番号又は車台番号

省路

点検の結果及び整備の概要

(☆は1年、5,000km以下の走行距離によって省略できる項目)
(※ OBDとは車載式故障診断装置を示す。)

点検 交換 × 調整 A 清掃 C 省燃 T P
修理 ○ 締付 付 給油 | | 該当 | | なし | |

自給 交換 × 調整 A 清掃 C 省燃 T P
修理 ○ 締付 付 給油 | | 該当 | | なし | |

自給 交換 × 調整 A 清掃 C 省燃 T P
修理 ○ 締付 付 給油 | | 該当 | | なし | |

自給 交換 × 調整 A 清掃 C 省燃 T P
修理 ○ 締付 付 給油 | | 該当 | | なし | |

自給 交換 × 調整 A 清掃 C 省燃 T P
修理 ○ 締付 付 給油 | | 該当 | | なし | |

自給 交換 × 調整 A 清掃 C 省燃 T P
修理 ○ 締付 付 給油 | | 該当 | | なし | |

自給 交換 × 調整 A 清掃 C 省燃 T P
修理 ○ 締付 付 給油 | | 該当 | | なし | |

自給 交換 × 調整 A 清掃 C 省燃 T P
修理 ○ 締付 付 給油 | | 該当 | | なし | |

自給 交換 × 調整 A 清掃 C 省燃 T P
修理 ○ 締付 付 給油 | | 該当 | | なし | |

自給 交換 × 調整 A 清掃 C 省燃 T P
修理 ○ 締付 付 給油 | | 該当 | | なし | |

自給 交換 × 調整 A 清掃 C 省燃 T P
修理 ○ 締付 付 給油 | | 該当 | | なし | |

自給 交換 × 調整 A 清掃 C 省燃 T P
修理 ○ 締付 付 給油 | | 該当 | | なし | |

自給 交換 × 調整 A 清掃 C 省燃 T P
修理 ○ 締付 付 給油 | | 該当 | | なし | |

自給 交換 × 調整 A 清掃 C 省燃 T P
修理 ○ 締付 付 給油 | | 該当 | | なし | |

エンジン・ルーミー点検

■ バウンスチェック
ベットの痛み、損傷

■ 冷却装置
冷却水の量
冷却水の汚れ

■ 室内点検
■ プレーキ・ペダル
遊び
踏み込みときの床板とのすき間
ブレーキの効き具合

■ 点火装置
スパークプラグの状態
☆ (白粉状、黄色い炭は故障の原因)
点火時期
点火プラグのキャップの状態

■ ベンチリ
ターミナル部の痛み、腐食

■ エンジン
排気ガスの色
O₂、HCの濃度
☆ 汚れた部品は、交換

■ クラッチ・ペダル
遊び
踏み込みときの床板とのすき間

■ プレーキ・ペダル
遊び
踏み込みときの床板とのすき間

■ バウンスチェック
ベットの痛み、損傷

■ 冷却装置
冷却水の量
冷却水の汚れ

■ 室内点検
■ プレーキ・ペダル
遊び
踏み込みときの床板とのすき間
ブレーキの効き具合

■ 点火装置
スパークプラグの状態
☆ (白粉状、黄色い炭は故障の原因)
点火時期
点火プラグのキャップの状態

■ ベンチリ
ターミナル部の痛み、腐食

■ エンジン
排気ガスの色
O₂、HCの濃度
☆ 汚れた部品は、交換

■ クラッチ・ペダル
遊び
踏み込みときの床板とのすき間

■ プレーキ・ペダル
遊び
踏み込みときの床板とのすき間

足廻り点検

■ ホイール
タイヤの空気圧
☆ タイヤの磨耗
☆ タイヤの溝の深さ、異常磨耗
☆ タイヤの歪み、損傷
☆ スペアタイヤの空気圧
☆ スペアタイヤの磨耗

■ ブレーキ
ブレーキドラム
☆ ドラムとライニングとのすき間
☆ プレーキシューの磨耗部分、ライニングの磨耗

■ プレーキ・ペダル
遊び
踏み込みときの床板とのすき間
ブレーキの効き具合

■ エンジン
排気ガスの色
O₂、HCの濃度
☆ 汚れた部品は、交換

■ クラッチ・ペダル
遊び
踏み込みときの床板とのすき間

■ プレーキ・ペダル
遊び
踏み込みときの床板とのすき間

下廻り点検

■ エンジン・オイル
漏れ

■ プレーキ・ホース、パイプ
漏れ、損傷、取付状態

■ エキゾーストパイプ、マフラー
☆ 取付時の痛み、損傷、腐食
☆ 異常な発音の痛み、損傷、腐食

■ エンジン・オイル
漏れ

■ プレーキ・ホース、パイプ
漏れ、損傷、取付状態

■ エキゾーストパイプ、マフラー
☆ 取付時の痛み、損傷、腐食
☆ 異常な発音の痛み、損傷、腐食

車載式故障診断装置点検

OBDの診断の結果 ※

■ 日常点検

■ エンジン・オイルの量
エンジンのかかり具合、異音
低速加速の状態
マフラーランプ、ウィンカーランプ等の点灯、消灯、損傷

■ プレーキ・ペダル
遊び
踏み込みときの床板とのすき間
ブレーキの効き具合

■ 点火装置
スパークプラグの状態
☆ (白粉状、黄色い炭は故障の原因)
点火時期
点火プラグのキャップの状態

■ ベンチリ
ターミナル部の痛み、腐食

■ エンジン
排気ガスの色
O₂、HCの濃度
☆ 汚れた部品は、交換

■ クラッチ・ペダル
遊び
踏み込みときの床板とのすき間

■ プレーキ・ペダル
遊び
踏み込みときの床板とのすき間

● O₂、HC濃度 (エアロソール時)

前検	左	5.6 mm	右	5.5 mm
後検	左	5.3 mm	右	5.4 mm

● プレーキ・ペダル、ライニングの厚さ

前検	左	7.1 mm	右	7.2 mm
後検	左	3.8 mm	右	3.7 mm

車検場名、所在地、電話番号

● タイヤの溝の深さ (1.6mm以上)

前検	左	5.6 mm	右	5.5 mm
後検	左	5.3 mm	右	5.4 mm

● プレーキ・ペダル、ライニングの厚さ

前検	左	7.1 mm	右	7.2 mm
後検	左	3.8 mm	右	3.7 mm

点検年月日

令和5年5月14日

整備完了年月日

令和5年5月14日

次回点検年月日

令和6年5月 日

整備完了年月日

令和6年5月 日

整備主任者の氏名

省路

車検場名

省路

令和5年5月

問題2 交換部品等

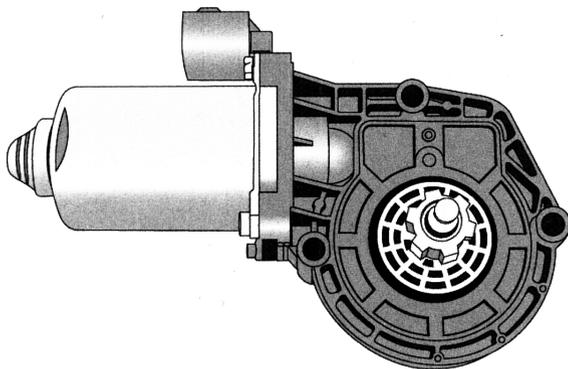
●エンジン・オイル
(図は省略)

●エアコン・フィルタ

●オイル・フィルタ
(図は省略)



●パワー・ウインド・モータ



■ 問題 1 基本的な問診の流れ（令和5年5月）

① 依頼された不具合の確認

『走行中に大きな音が発生する。』

② 具体的な不具合状況の確認

- 大きな音の発生時を確認する

「どのようなときに発生するか」⇒『走行中は常に発生』

- 大きな音の発生箇所を確認する

「どの辺りから聞こえてくるか」⇒『車両の後方右側』

- 大きな音はどのような音であるか確認する

「どのような音であるか」⇒『ゴ音』

③ 不具合の発生時期・発生時間・発生頻度の確認

- 発生時期を確認する

「いつから発生しているか」⇒『2週間前』

- 発生時間を確認する

「いつ発生するか」⇒『時間に関係なく発生』

- 発生頻度を確認する

「発生頻度はどのくらいか」⇒『走行時は常に発生』

④ 事故・整備歴等の確認

- 事故・整備歴等の確認する

「事故、整備歴等があったか」⇒『なし』

⑤ 不具合発生時の走行状態の確認

- 不具合時のシフト・ポジションを確認する

「シフト・レバーの位置」⇒『Dレンジ』

- 不具合時の速度を確認する

「発生したときの速度」⇒『速度に関係なく発生する』

⑥ 不具合発生時の環境の確認

- 道路状況を確認する

「高速道路・一般道・坂道など」⇒『道路状況に関係なく発生』

- 気象条件を確認する

「天候状況」⇒『関係ない』

- 気温を確認する

「気温」⇒『関係ない』

⑦不具合発生時の自動車の状態の確認

- 警告灯の点灯を確認する

「警告灯の点灯の有無」⇒『点灯しない』

- エンジン状態を確認する

「エンジンの回転速度」⇒『関係ない』

⑧再現性の有無の確認

- 再現性を確認する

「誰が運転しても同じ不具合を感じるか」⇒『誰でも再現できる』

⑨不具合原因の推定と点検予定作業の説明

- 不具合原因の推定（②～⑧の確認により、リヤ・ホイール・ベアリング関係が原因であると判断）

「走行中は常に“ゴー”という大きな音が発生していることからリヤ・ホイール・ベアリング関係が原因で“ガタ”が生じ、ゴー音が発生」

- 点検予定作業の説明

「タイヤを上下に動かして“ガタ”の有無を点検。“ガタ”がある場合はブレーキ・ペダルを踏んで再度点検し、“ガタ”を点検。“ガタ”が無くなれば、リヤ・ホイール・ベアリングに“ガタ”があると判断。リヤ・ホイール・ベアリングの偏摩耗が原因となり、リヤ・ホイール・ベアリングの交換が必要」

⑩自動車特定整備事業者の事業場において、法令で掲げるよう定められている「標識の色」について

- 法令でどのような基準になっているか説明

「道路運送車両法施行規則で定められており、標識の色は、若草色地に黒文字」

■ 問題 1 基本的な問診模範解答（令和5年5月）

令和
5年
5月

① 依頼された不具合の確認



アドバイザー

いらっしゃいませ、サトウ様。
今回の不具合は「走行中に大きな音が発生する。」でよろしいでしょうか？

はい。



サトウ様

② 具体的な不具合状況の確認

アドバイザー

「走行中に大きな音が発生する。」ということですが、それはどのような時に発生しますか？

走行中は常に発生しています。

サトウ様

アドバイザー

その音はどこから発生していますか？

車両の後方右側から音がします。

サトウ様

アドバイザー

その音はどのような音ですか？

「ゴー」という大きな音がします。

サトウ様

③ 不具合の発生時期・発生時間・発生頻度の確認

アドバイザー

その不具合が発生したのはいつからですか？

2週間前からです。

サトウ様

アドバイザー

その不具合が発生した時間は朝、昼、夕、夜のいつ頃ですか？

時間に関係なく発生します。

サトウ様

アドバイザー

その不具合の発生頻度は、1日で何回、週で何回ぐらいですか？

走行時は常に発生します。

サトウ様

④事故・整備歴等の確認

アドバイザー 事故や整備歴等はありませんか？

ありません。 サトウ様

⑤不具合発生時の走行状態の確認

アドバイザー その不具合が発生したとき、シフトレバーの位置はD、2、1どの位置でしたか？

シフトレバーの位置はDレンジです。 サトウ様

アドバイザー その不具合が発生する速度は何km/hぐらいですか？

速度に関係なく発生します。 サトウ様

⑥不具合発生時の環境の確認

アドバイザー 道路状況ですが、高速道路、一般道、坂道など、音が発生しやすい状況はありますか？

道路状況に関係なく発生します。 サトウ様

アドバイザー 気象条件ですが、晴れや雨など天候状況によって症状は変化しますか？

天気は関係ありません。 サトウ様

アドバイザー 気温によって症状は変化しますか？

気温は関係ありません。 サトウ様

⑦不具合発生時の自動車の状態の確認

アドバイザー その不具合が発生したとき、メータ内の警告灯は点灯しましたか？

警告灯の点灯はありません。 サトウ様

アドバイザー その不具合が発生したとき、エンジン回転数は何回転ぐらいでしたか？

エンジン回転数は関係ありません。

サトウ様

⑧再現性の有無の確認

アドバイザー

再現性ですが、誰が乗ってもその不具合は発生しますか？発生するとき、何か条件はありますか？

誰でも再現できます。

サトウ様

《最後の確認と終了宣言》

アドバイザー

他に何かお気づきの点はございますか？

ありません。

サトウ様

アドバイザー

以上で問診を終了します。

⑨不具合原因の推定と点検予定作業の説明

それでは、質問します。
点検方法を教えてください。

サトウ様

アドバイザー

はい、「車両の後方右側から走行中に大きな音が発生する」ということですが、問診から、走行中は常に発生し音が「ゴー」という大きな音から、リヤ・ホイール・ベアリング関係が原因でガタが生じてゴー音が出ていると考えられます。
点検方法はジャッキアップ等を行い、タイヤを上下に動かしてガタが無いか点検し、ガタがあった場合はブレーキ・ペダルを踏んで再度点検点検します。このときガタが無くなればリヤ・ホイール・ベアリングにガタがあると判断します。ガタがあった場合は、リヤ・ホイール・ベアリングの偏摩耗が原因と考えられますので、リヤ・ホイール・ベアリングの交換が必要となります。

わかりました。

サトウ様

⑩自動車特定整備事業者の事業場において、法令で掲げるよう定められている「標識の色」について

自動車特定整備事業者の事業場において、分解整備の全部及び電子制御装置整備を行う事業場について法令で掲げるように定められている「標識の色」について説明してください。

サトウ様

令和
5年
5月

アドバイザー

はい、道路運送車両法施行規則で定められており、標識の色は、若草色地に黒文字です。

わかりました。

サトウ様

最新情報、書籍情報などはHPで。

公論出版



<https://www.kouronpub.com/>

自動車整備士 1級小型口述
問題と解説 令和6年5月受験版

定価 2,200 円 / 送料 300 円 (共に税込)

■発行日 令和5年11月 初版

■発行所 株式会社 公論出版
〒110-0005
東京都台東区上野3-1-8
TEL : 03-3837-5731 (編集)
03-3837-5745 (販売)
FAX : 03-3837-5740
HP : <https://www.kouronpub.com/>